

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	北海道標津高等学校
授業者	鈴木祐二 中村 公一 平山 直樹

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

知床ゴミゼロ運動（特別活動 生徒会）

#### 1-2. 学年

全学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

特別活動（生徒会）

#### 1-4. 単元の概要

ユネスコスクールとしての活動の一環として生徒会が中心となり、海岸美化活動を実施する。コロナ禍でありながら実施できるよう企画。今年度は、近隣小中学校に声かけを行い、世代間交流を取り入れ、身近な海の公園の清掃活動を実施。町内の児童生徒が、身近な海洋環境について興味関心を持ち、主体的に実行する力を養成する。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

単元として実施せず、生徒会活動の一環とした。  
身近に海を感じる本校生徒に海洋への興味関心を持つきっかけとなるような活動とする。また、野付巡検で取り組み続けている海洋漂着ごみの削減を生徒が自主的に取り組む機会の一環とする。合わせて、SDGs14を意識した取り組みへ発展させることが狙いである。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・豊かな自然環境に囲まれている環境を理解し、保全しようとする態度
- ・仲間と協力して取り組み、達成感を共有する態度
- ・世代間の交流を行うことで、コミュニケーション能力や他者への思いやりの心を育む。
- ・海洋ゴミへの興味関心を高め、国際的なつながりに気付き、領土問題等に関心を持つ態度
- ・自他の生命や個性を尊重し、自然と共生することの大切さを感じ取る態度

1-7. 単元の展開（全 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

知床ゴミゼロ運動を通して

- ・近隣高校との連携を図り、海洋ゴミへの関心を高める。
- ・多くの生徒が参加し、生徒主体で活動することで生徒会生徒のリーダーとしての役割を高める。
- ・海を大切にすることを養う。
- ・世代間交流を通して思いやりの心を養う。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒会生徒による企画立案</li><li>・自校生徒への呼びかけ</li><li>・町内小中学校へ連絡</li><li>・海の公園の事前調査</li><li>・児童生徒へのお礼を作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・町役場・町教委との連絡調整及び日程調整</li><li>・町役場住民生活課との連携 ボランティアゴミ袋の提供</li><li>・危険箇所の確認</li><li>・生徒の安全管理</li><li>・ゴミの集積</li></ul>
<p>2 当日</p> <p>会場 標津町海の公園</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加生徒は現地集合</li><li>・生徒会担当から注意事項の説明</li><li>・分担を決めてゴミ拾い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・羅臼高校と連絡・情報共有</li></ul>
<p>3 事後</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ゴミの計量</li><li>・参加生徒からの感想</li><li>・参加小中生へプレゼント</li></ul>	



### 3. 今回の活動の自己評価

生徒会生徒による2度目の企画であったが、前年よりも賛同する生徒が多く盛況な企画となった。コロナ禍ではあったが、地域の小中学校と共同開催にしたことで、世代間交流に繋がり、年下の児童生徒に安全に楽しんで海岸清掃活動をしてもらうにはどうすれば良いのか他者を思いやる心の育成に繋がった。また、参加者にとって自然環境への興味関心を高め、海洋からのゴミ問題を考えるきっかけとなった。単純なゴミ拾いという活動ではあったが、海に親しむ心、思いやりの心の育成は達成できた。

#### 4. 今後の課題

- ・町内の企画として、時期を固定し小中学生とともに活動できるようにする。
- ・ユネスコスクール間の交流を深め、近隣高校および根室海峡に隣接する高校へ活動をひろげる。

#### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・関係諸機関との打ち合わせは早めに実施。担当者間で連携がとれるような体制を構築すること。